

日本共産党青森県議会議員

安藤はるみの

新・アジサイだより



農林水産委員会で県外調査

10月25日から27日まで鹿児島県と宮崎県に調査。

●鹿児島県庁で
1、「かごしまの食糧出拡大事業」等）鹿児島県における農産物の販売促進等の取組について

2、(全国和牛能力共進会で総合1位を獲得した)鹿児島県における畜産振興の取組について調査。

●鹿児島県の公益財団法人志布志市農業公社において
新規就農者確保・定着の取組及びピーマン山地再興の取組について調査。

研修生はピーマンのハウス栽培の研修を2年間受けます。現在3人の方が受けています。自己資金500万円、健康診断書必須、1年目は研修手当(1人15万円、夫婦25万円)支給、住宅助成ありと試行錯誤の取組で、20年間で101人が研修を受け72人が就農。この取り組みで第44回日本農業賞を受賞。



●宮崎県の株式会社ミヤチク(高崎工場)で宮崎牛のブランド戦略及び食肉の海外進出の取組について調査。

海外で日本の牛肉が安全で美味しいという評判でよく売れているそうです。ミヤチクは対米輸出食肉施設の認定を受けており、宮崎牛の約8割を取扱い、アメリカ、東南アジア等に輸出しているそうです。工場内、店舗を視察。



●宮崎県の一般社団法人食の安全分析センターで農作物の残留農薬等に係る最新鋭の分析検査の状況及び輸出促進に向けた取組について調査。

当センターは県、宮崎大学、(株)島津製作所などの産学官が連携し、平成27年2月に設立。残留農薬に関する世界最先端の分析装置「ネクセラシー」を導入。平成28年から受託分析を実施。500種

来日で

武器のセールス

トランプは

(はるみのワクワク川柳)

類の農薬の濃度を50分で分析。高付加価値の野菜や果物を早く正確に検査し、鮮度を損なわず海外へ送り出し、農業者や商社を応援するのが狙いとのことでした。



(活動日誌)

10月28日 三大小学校学習発表会
11月11日 文学の丘まつり

10月5日
農林水産委員会より

クロマガゴ資源管理で漁獲規制進む中、漁業共済制度で収入補てんできるのか

水産振興課長「クロマガゴ漁業者が加入する3つの事業区分を合わせれば共済金の授与者の支払い実績は、資源管理導入後2千5百万円増加しているが、その主な原因は28年度のスルメイカの不漁によるものと聞いている」

加入率について
課長「9割程度であり制度の周知と加入促進のための取り組みを図りたい」

減収補てん可能な仕組みに
課長「支払金となる基準価格金額は、原則として過去5年間の漁獲金額の最高と最低の年を除いた3年の平均とされており、急激な減収にはならないものの、漁獲金額が減少し続けた場合受け取れる共済金も減少していくこと。このことから県として国に対して平成27年度28年度国の共済金で十分に減収を補てんできる仕組みを要望してきた」と答弁しました。

ほっとタイム

(7人目の孫)

9月に我が家の7人目の孫が大阪在住の4男家で誕生しました。誕生前から11月の連休に夫と会いに行く計画を立てていました。選挙も終わっていたので心置きなく行って来られました。数か月前、夫はラジオでバリアフリー対応の温泉があるという情報を聞き、そんな温泉に行ってみようというので、私がネットで調べたところ大阪の近隣では和歌山県の白浜温泉に1件あることがわかり大阪行と合わせて早速申込んでおきました。車椅子使用の夫との空の旅は3度目です。航空会社の対応は安心して任せられました。羽田から乗り継ぎの飛行機搭乗まで2時間もあり、医務室のベッドを利用して頂き助かりました。



目的地的温泉民宿では広い家族風呂があり専門の車椅子とスロープが用意されており何とか温泉につかることが出来、送迎サービスもあり助かりました。次の行程となった白浜駅から天王寺までの2時間の特急電車の旅は、車椅子使用で切符を手配していたのに通路が狭く座席まで車椅子で行けないハプニングが発生し難儀しました。さて、主目的の生まれたばかりの孫にはバリアフリーホテルで初対面することが出来ました。また息子3家族6人の孫たちも集まってくれ楽しいひと時を過ごすことが出来ました。何より孫とのふれあいは夫の生きるパワーとなりました。



■皆さんの「ご意見」・「ご要望」をお寄せ下さい。 ■「生活相談」お気軽にご連絡下さい。 10月の相談対応3件

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021
10:00~15:00(土・日・祝日休み 留守電対応)

自宅0172-35-2270

10月のホームページアクセス数
29,844件

Eメール ando.harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/